



# 落羽松

観音寺市立観音寺東小学校  
平成23年度学校だより 第7号  
2011年11月28日

中庭の桜の葉が落ちるように、すっかり秋の深まりを感じる頃となりました。先日の学習発表会には、多数の皆様がご来場くださり誠にありがとうございました。私は、お子様やお孫さんの発表だけでなく、全員の子どもたちを最後まで温かく応援し励ましてくださったことをとても嬉しく思っています。改めて当校区のすばらしい地域性と学校が地域の中にしっかり位置付いていることを実感することができました。本当にありがとうございました。

さて、お子様やお孫さんが表現する姿をごらんになられて、皆様はどんなことをお感じになりましたか。子どもたちは、一生懸命練習することを通して、友だちの良さを再発見したり、みんなの力で成功させた喜びを味わったりすることができたことでしょうか。また、一人一人が自己表現・自己実現できることの喜びや、それを温かく評価してくれたことに対する満足感や達成感も味わえたと思っています。

私は、子どもたちの生き生きとした姿に感動した場面がいくつもありました。例えば、普段とは違う堂々とした大きな声で発表したり、表情豊かにパフォーマンスしたりする姿です。また教師は、すべての子どもたちを輝かせようと様々な工夫を凝らしていました。小道具一つに、動作一つに、教師と子どもたちとの「心」が伝わってきました。まさに、教師と子どもたちとで創り出された芸術であると思えました。

## 笠田高校のみなさんと交流学習を行いました

本校の特色ある教育活動の一つに、4年生が12年前から取り組んでいる“有明浜の海浜植物の観察や保護活動”があります。今回、その活動において、笠田高校の植物科学科の皆さんとの交流学習を行いましたので紹介します。

### <ウンランの植え付け> 11月1日(火)

笠田高校が準備してくれた約1000本のウンランの苗を高校生と一緒に植えました。植える手順などの説明を受けた後、小グループに分かれ、高校生の指導のもと楽しく植え付けることができました。ウンランの生長を祈りながら、また高校生と談笑しながら植える様子は、とてもほほえましく見えました。



### <バイオテクノロジーの模擬体験> 11月22日(火)

笠田高校の十鳥先生を指導者に迎え、バイオ技術によって花の種子をつくるという出前講座を開いていただきました。11月1日に植えたウンランのように絶滅を危惧されている植物でも、この技術によって新たな命を育むことができるそうです。

アレルギン酸ナトリウムの中に入れられた種をピペットでとり、それを塩化カルシウムの中に落とすとイクラのように固まりました。1滴ずつ落とすのが難しかったようですが、色鮮やかな種子ができた時は歓声があがっていました。この実験には、高校生が助手として協力くださり、とても和やかな雰囲気の中で学習することができました。

## 学習発表会への参加、ありがとうございました



< 1年生の発表 >



< 2年生の発表 >



< 3年生の発表 >



< 4年生の発表 >



< 5年生の発表 >



< 6年生の発表 >

- 1年生の発表「サラダで元気」
- 2年生の発表「とびだせ！わくわく探検隊！」
- 3年生の発表「町探検に 出発だ！」
- 4年生の発表「有明浜を 守ろう」
- 5年生の発表「宿泊学習の 思い出」
- 6年生の発表「びっくり昔話 in English」
- トランペット鼓隊「上を向いて歩こう」「ありがとう」



< トランペット鼓隊の発表 >

## 親子ウォーキング大会には多くの親子が参加しました

好天に恵まれた11月12日(土)、観音寺東公民館区社会福祉協議会主催の「親子ウォーキング大会」が開催され、約100名のみなさんが参加されました。

当日は、エプロンガイドさんの案内で、「路地裏・味めぐり」として、町中の5つのお店を訪問しました。親子で、また兄弟姉妹や友だちと仲良く参加した皆さんは、きっとふるさとの良さを改めて再発見することができたのではないのでしょうか。みなさんが歩く姿を後ろから眺めながら、この催しの価値を実感することができました。



## 子育てのワンポイント

これまで、なかなかスムーズに会話ができなかった子と、最近はとても気持ちよく話ができるようになりました。服装や態度を注意すると、素直に受け入れすぐに直します。ある書物に、英語の「励ます」という言葉の元々の意味は、「心を与える」というものだと言われていました。私は会話にならなかった彼に対し、会う度に褒め言葉や励ましの声かけをしてきました。その言葉が彼の心に響き、私の「心」が伝わったのかも知れません。私たちは、子どもたちのそれぞれに違う個性を理解し、その都度「心を与えるような」助言を工夫するなど、言葉かけによって温かい手を差し伸べていきたいものです。